

更なる建設リサイクル の推進に向けて

—機関誌「建設リサイクル」特集記事合本版—

建設リサイクル
関係者
必読書

国土交通省が平成26年9月に策定した「建設リサイクル推進計画2014」では、品目ごとに平成30年度目標と目標達成のための方策が定められています。目標達成のためには、最新の取り組み状況などを踏まえる必要があるとの認識のもと、機関誌「建設リサイクル」では、行政、関係業界等の最新の取り組み等について、「更なる建設リサイクルの推進に向けて」と題する特集記事を2016年夏号から2017年秋号まで6回掲載しました。本書は、6回分の特集号の記事等を1冊に取りまとめたもので、**建設リサイクルの重点課題への最新の取り組みを網羅した唯一の情報誌です。建設リサイクルに係わる全ての方のバイブルといえます。**

A4判・230頁程度・本文1色 定価1,500円(本体1,389円)送料実費(1部:450円、複数部:事務局へお問い合わせください。)
企画・編集:建設副産物リサイクル広報推進会議 / 発行・発売:株式会社 大成出版社

目次(案)

I コンクリート

- 1 コンクリートの耐久性に関する最新の研究動向について
- 2 コンクリートの完全リサイクル化に向けて
- 3 再生骨材Hを使用したコンクリートの適用事例
- 4 大粒径解体ガラを用いた再生コンクリートの開発と適用
- 5 東京都における再生碎石利用拡大への取組について
- 6 「東京ブランド“粋な”えこ石」の品質管理の仕組みと建設リサイクルのこれから

II 建設発生土

- 1 建設発生土リサイクルの総合マネジメント
- 2 建設発生土情報交換システムについて —発生土の円滑な工事間利用を支援—
- 3 建設発生土工事間利用促進のための最適な工事組み合わせ情報の提供
- 4 首都圏の建設発生土の利用に関するUCRの役割について
- 5 東京都下水道局中川建設発生土改良プラントについて
- 6 建設発生土の再利用について「福岡市建設発生土リサイクルプラント認定審査制度」
- 7 広島県における建設発生土の適正処理に関する取組について
- 8 東京外かく環状道路(関越~東名)における建設発生土の対応方針について
- 9 岩手県の震災復興事業における建設発生土の土量調整等について

III 建設混合廃棄物

- 1 大規模な新築・解体工事における建設廃棄物発生抑制及び現場分別への取り組み
- 2 住宅業界における建設廃棄物の発生抑制、現場分別への取り組みについて
- 3 解体業界における建設混合廃棄物減量化への取り組みと課題~建設工事に係る資材等の再資源化等及び適正処理に関する法律に向けて~
- 4 建設混合廃棄物の選別後に発生するふるい下残さの性状とリサイクルの可能性
- 5 建設混合廃棄物高度選別技術 —選別機の活用方法—
- 6 欧州における建設リサイクル最新情報—建設混合廃棄物自動選別システム(ZRR)の紹介—
- 7 ZRRの日本導入第1号—シタラ興産サンライズFUKAYA工場—見学記 ~廃棄物処理のリーディングカンパニーを目指して~

IV 建設汚泥

- 1 公益社団法人全国産業廃棄物連合会における建設汚泥再生品の利用促進のための提案について
- 2 建設汚泥高度再資源化技術について—城南島第二工場紹介—
- 3 北海道地方建設副産物対策連絡協議会における建設汚泥再資源化の取組
- 4 建設汚泥改良土を利用促進する取り組みについて
- 5 建設汚泥の海洋投入処分(環境大臣許可制度)の制度改正について
- 6 千葉県「再生土等の埋立て等に係る行政指導指針」の概要

V 自然由来重金属等含有土

- 1 自然由来重金属等含有土の活用に関する動向と課題
- 2 道路事業において遭遇した土壌汚染等の現況
- 3 新東名高速道路盛土建設における重金属含有土対策の検証
- 4 建設発生土に含まれる自然由来の重金属への対応-建設工事で発生する自然由来重金属等含有土対応ハンドブックの刊行-

VI 参考

社会資本整備審議会環境部会・交通政策審議会交通体系分科会環境部会 建設リサイクル推進施策検討小委員会 第11回合同会議資料抜粋

◆申込・問合せ先◆

建設副産物リサイクル広報推進会議 事務局 : (一財)先端建設技術センター 企画部 新妻・松坂
TEL : 03-3942-3991 FAX : 03-3942-0424 E-Mail : recycle@actec.or.jp

FAX: 03-3942-0424

建設副産物リサイクル広報推進会議 事務局: (一財)先端建設技術センター 企画部 松坂 宛

「更なる建設リサイクルの推進に向けて」 申込書

発行: 平成30年3月末日(予定)

※発送・請求業務は、(株)大成出版社が行います。

書名	単価(税込) 送料実費(1部:450円、 複数部:事務局へお問い合わせください。)	購入部数
更なる建設リサイクルの推進に向けて	1,500円 (本体1,389円)	部

■図書送付先 (発行物は3月末日頃より順次発送いたします)

会社名・団体名	部署
お名前	TEL
E-Mail	
住所 〒	

■必要書類

<input type="radio"/> 見積書	通	<input type="radio"/> 納品書	通	<input type="radio"/> 請求書	通
宛名の記入:	する	・	しない	(いずれかに○をして下さい)	
日付の記入:	する	・	しない	(いずれかに○をして下さい)	
記入の方法:	単価に送料を含む	・	単価と送料を2段書きにする	(いずれかに○をして下さい)	
請求書宛名(請求書の宛名が、会社名・団体名と異なる場合にご記入下さい)					

※請求書等に指定用紙がある場合は、本状と同封の上、当事務局宛に郵送または、メールにてご連絡をお願いいたします。

送付先: 〒112-0012 東京都文京区大塚2丁目15番6号 オーク音羽ビル4階
(一財)先端建設技術センター 企画部内 建設副産物リサイクル広報推進会議 事務局 松坂 宛
E-mail: recycle@actec.or.jp / TEL: 03-3942-3991

■通信欄

--

(H P)

事務局記入欄

NO.

※ご記入頂いた情報は、商品販売・発送作業・請求業務に使用します。ご注文に関して確認したい場合等、ご連絡を差し上げることがあります。